

## ●●展望2023●●



大成ロテック

西田 義則社長

原油価格上昇と円安に伴う原材料価格高騰分を価格転嫁できず、特に製品部門で苦戦している。昨年は逆風の年だったが、中期経営計画の最終年度となる2023年度は全

道路舗装

### 業績のV字回復目指す

社一丸で利益改善策や工事の受注拡大に努め、業績のV字回復を果たしたい。

海外ではベトナムで再生アスファルト合材事業を事業化させた。

工事部門では舗装だけでなく、需要拡大が見込まれる本

カーボンニュートラルの取り組みは避けて通れない。合

建設工事に着手する予定だ。

業周辺の橋梁補修やトンネルのリニューアル工事などを強化する。大成建設とJVを結成し積極的に参入を目指す。昨年立ち上げた建築本部が司令塔となり、事務所などの建築分野も受注拡大を狙う。

温材工場では燃料のガス化や中画的に行い、重機燃料を軽油から環境負荷の少ない燃料へ

状況だ。職員の意識改革とともに、現場作業の軽減に向けたDXを加速し、生産効率を高め、現場の直接支援管理するプラットフォームをさらに充実し現場の直接支援につなげていきたい。

発電所の建設に今春から着手し、24年の運転開始を目指す。脱炭素化の研究開発などを目的に埼玉県幸手市に建設する「大成建設グループ次世代技術研究所」は23年度から施設